

生駒市議会市民懇談会



ごみ問題について

平成**28**年**2**月**13**日

ごみ処理事業の経緯



年 度	実 施 過 程
昭和48年度	分別収集開始（可燃物・不燃物）
昭和59年度	有害ごみ・粗大ごみの収集開始
平成8年度	資源ごみ分別開始（びん・缶・ペットボトル）
平成22年度	燃える大型ごみの電話リクエスト収集開始
平成23年度	一般廃棄物処理基本計画（ごみ半減プラン）策定 燃えないごみの電話リクエスト収集開始 プラスチック製容器包装分別開始 可燃ごみの収集ルートの見直し 紙類・古着・くつ・かばんの行政回収開始
平成24年度	事業系ごみ処理手数料値上げ・原則指定ごみ袋制 ごみ半減トライアル計画（～平成25年度）
平成27年度	家庭系ごみ有料化

一般廃棄物処理基本計画（ごみ半減プラン）の概要



- 計画目標年度：** 平成23年度～平成32年度
- 基本理念：** すてることをやめて、循環型社会の構築を目指します
- 基本方針：**
- ①市民・事業者・収集業者・行政のごみ減量・資源化に対する理解を深め、実践行動を共に起こす
 - ②家庭系ごみの減量・資源化の推進
 - ③事業系ごみの減量・資源化の推進
 - ④ごみの半減の実現に向けたシステムの構築

ごみ半減実現のための重点施策：

ごみの焼却量 半減

平成21年度

35,000 t

平成32年度

17,000 t

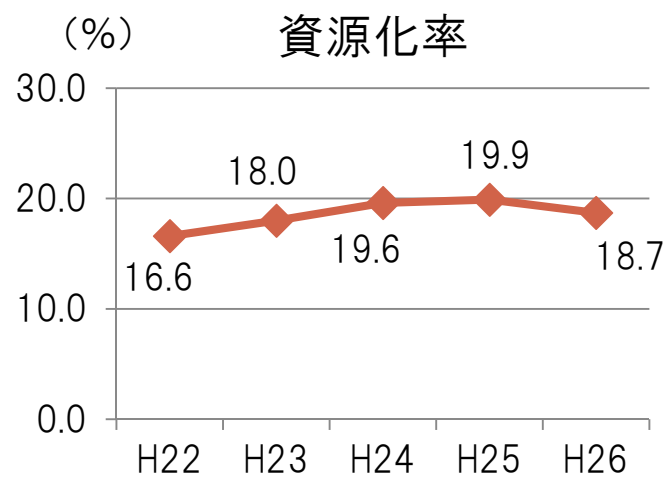
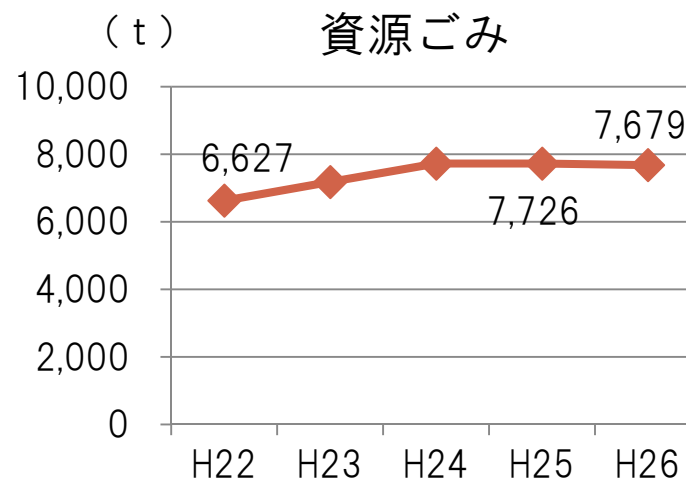
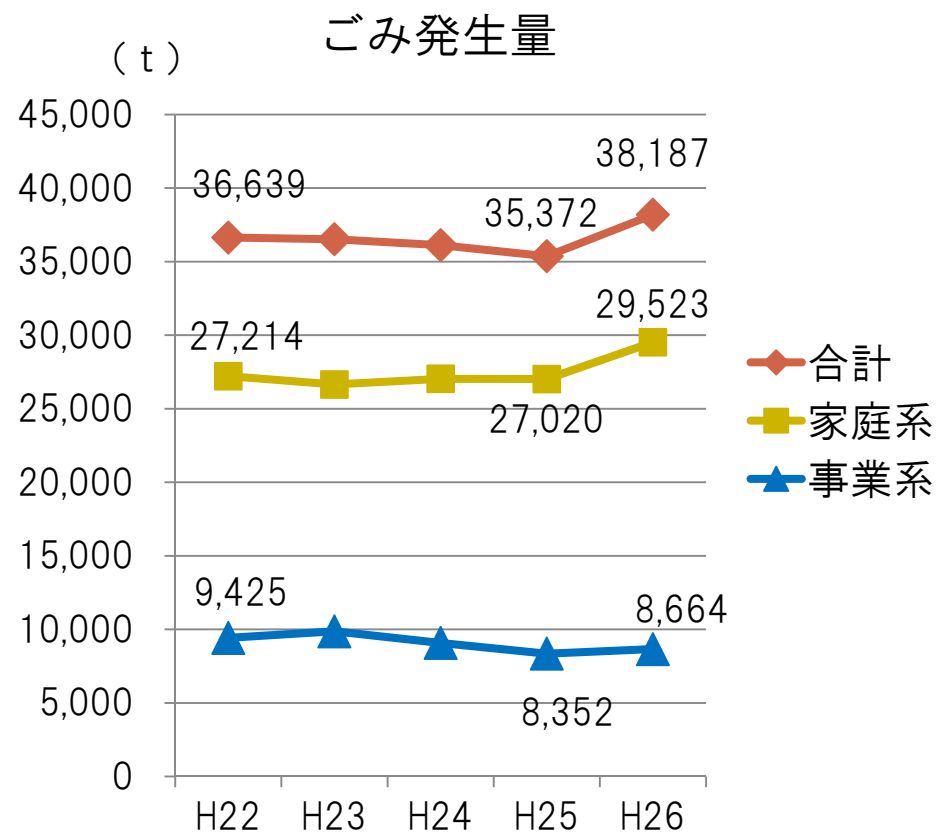
- ① “もったいない運動”の展開による発生抑制の推進
- ②プラスチック製容器包装分別収集の実施
- ③家庭系ごみ中の資源化可能な紙類削減の取組
- ④家庭系ごみへの有料制導入
- ⑤バイオマス（生ごみ・剪定枝等）の資源化
- ⑥事業系ごみ有料指定袋制の導入
- ⑦事業系ごみの減量・資源化促進のための取組の拡充

ごみ減量化への取組



- 家庭生ごみ自家処理機等の購入補助（平成26年度は1,223件に補助）
- 環境フリーマーケット（平成26年度は4回開催）
- 集団資源回収に対する補助（平成26年度は151団体（2,880 t）に補助）
- 市内食品スーパーでのレジ袋有料化
- 不用品交換コーナー（平成18年度から市HP等に情報掲載）
- 資源ごみの分別回収（ペットボトル、びん・缶・われもの）
- 陶磁器製食器・ガラス製食器リユース・リサイクル事業
- ミックスペーパーのリサイクル
- 新聞・雑誌等の行政回収
- プラスチック製容器包装分別収集
- 持ち込みごみのリユース市での販売（平成26年度は2回開催）
- リユース品販売会の開催（平成26年度は3回開催）
- 事業系ごみ処理手数料の値上げ・原則指定ごみ袋制
- 家庭系ごみ有料化

ごみ処理（発生量）の実績

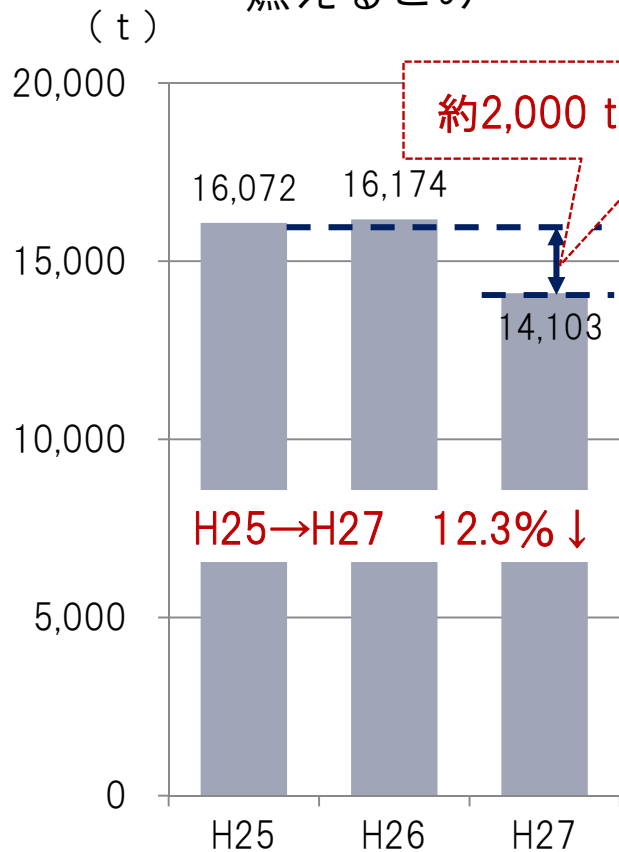


※ 「ごみ発生量」には集団資源回収分を含んでいない
「資源ごみ」には集団資源回収分を含む

家庭ごみ有料化後の状況

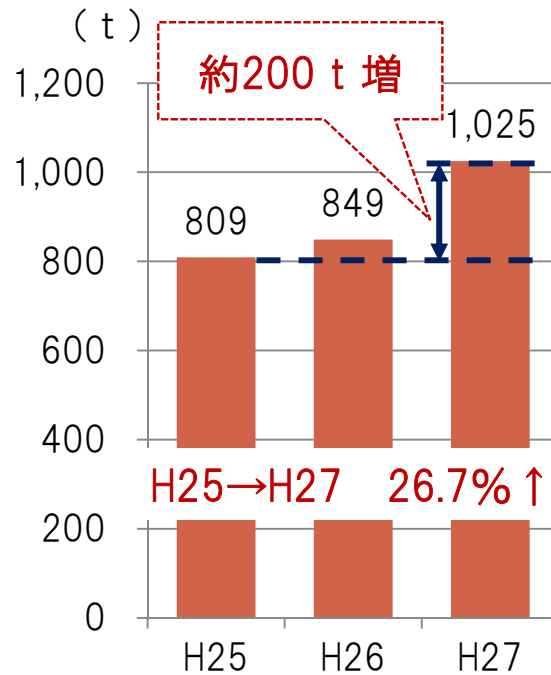


燃えるごみ

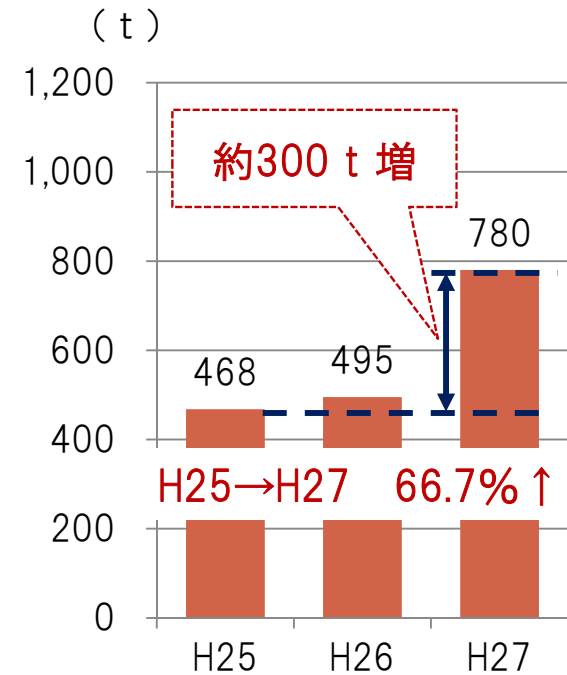


家庭ごみの有料化前後での家庭ごみの排出状況比較

紙類



プラスチック製容器包装



※いずれも集積所での収集量(4月～12月)